

2025年度 学校評価アンケート結果報告をうけて

洛星中学校高等学校
校長 小田 恵

日頃より本校の教育活動に対し、多大なるご理解とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

このたび、2025年度の学校評価アンケートの結果がまとまりました。全体的な満足度平均は生徒3.18、保護者3.19と概ね良好な評価をいただきましたが、個別の項目に目を向けると、本校が大切にしてきた価値観の浸透や、時代の変化に伴う新たな課題が浮き彫りになっています。

校長としてこの結果を真摯に受け止め、今後の改善に向けた展望を以下の通りまとめました。

1. 洛星の「強み」の再確認

学校行事（文化祭・体育祭・クリスマスブロー等）への満足度は、生徒3.63、保護者3.74という極めて高い水準にあります。行事を通じて生徒が大きな成長を実感し、保護者の皆様にもその姿をお届けできていることは、本校の誇るべき文化です。

また、「先生は質問や相談に丁寧に応じてくれる」という項目が高く、教員と生徒の間に確かな信頼の土壌があることを再認識いたしました。

2. 課題への取り組みと改善の方向性

一方で、現状に安んじることなく、速やかに改善を図るべき課題も明確になりました。

◇教育方針と生活心得の深化

カトリック精神に基づく全人教育の理解が、学年を追うごとに伸び悩んでいる点は注視すべき課題です。これらは単なる規則ではなく、洛星での学びの土台です。形式的な理解に留まらず、日々の生活の中でその精神をどう体現するか、生徒と共に改めて問い直す機会を設けてまいります。また、カトリック精神の涵養については、あらたに設けるヴィアトール学園カトリック総合教育センターとの連携もいたします。

◇学習・生活環境のアップデート

ICT活用の満足度向上は、現代の学びにおいて喫緊の課題です。デジタルツールを学びの質を左右するものと捉え、教員の授業研究を強化し、効果的な活用を推進します。

また、食堂の運営についても多くのご意見をいただきました。運営上の制約はございますが、事務局と連携し、生徒の健康を支える憩いの場としてより良い環境を整えるべく、具体的な改善策を検討いたします。

◇国際交流と多様な学びの機会

「世界への視野を広げたい」という生徒の意欲に応え、国際交流プログラムの充実や、より多くの生徒が参加のチャンスを得られる体制構築を加速させます。

3. 「対話」を軸にした学校運営

自由記述では、熱心な指導への感謝とともに、より丁寧なコミュニケーションを求める声も寄せられました。生徒一人ひとりの不安を解消するための個別面談を充実させ、学習の進捗や難易度についても、個別最適なフォローアップを強化してまいります。

4. 結びとして

洛星が「洛星たる根幹」は、生徒、保護者、そして教職員の三者が互いに信頼し、高め合う関係にあります。今回のアンケートで示された厳しい評価は、本校への大きな期待の裏返しであると捉えています。2026年度に向け、伝統を堅持しつつも、次代に即した教育環境を整え、生徒たちが自らの可能性を最大限に伸ばせる学校づくりに邁進してまいります。